

# やったぜ 野球部 甲子園だ!!

## 8月14日 第3試合に出場!!

決勝戦

丸子実	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
上田	1	2	0	0	0	0	0	0	1	4



### 30年ぶり二度目の快挙

### あざやか! 丸子実にサヨナラ勝ち

# 同窓会報

甲子園出場特集号  
昭和62年 8月10日

社団法人  
上田高等学校同窓会

印刷所  
田辺印刷株式会社  
(発行部数 23,000部)

昭和62年7月28日、本校野球部は全国高校野球長野大会で見事優勝し、昭和32年以来30年ぶりの甲子園出場を決めた。

丸子実業高校との東信決戦となった決勝戦は、ガツブリ四つに組んだ好試合となり、9回裏二死二塁のチャンスに、窪田が中前適時打を放ち、二走繁田が生還。劇的なサヨナラ勝ちを収めた。

その瞬間、上田高応援席からは大歓声があり、スタンドは喜びに大きくゆれた。

### 後援会・OBの皆さんに拍手

遂に彼等はやって来た。この快挙に陰でじっと感激をかみしめている人達がいる。強

い時も弱い時も、いつも物心両面に亘って支援し続けて来た後援会、OB会の皆さんである。苦節30年、心から拍手をおくる。

### エース窪田 気迫の熱投!

今大会で目立ったのは、好機と見れば一気にとたみかける打線の迫力と、ランナーを出しても動じないエース窪田のたくましさである。とりわけ窪田投手の安定感は、ナインに、また応援団にどれだけの安心を与えてくれたことであろうか。彼の左腕から繰り出す速球とカーブは、ここぞという時に相手打者に空を切らせるか、バットに当たっても必ずつもらせていた。まさに気迫のこもった熱投と言うべきであろう。

どこからでもチャンスを作り出した。この分析をもとに、選手自らが目標値をカードに記入し、冬場三カ月間はボールを全く握らず、特に上半身の筋力トレーニングに黙々と励んだという。球児にとって、ボールを握らない練習は辛いものであろう。しかし、彼等はそれに耐え、春には見事な体をつくった。

### 実った冬場の筋力アップ

草間監督になって六年目、毎年冬には筋力アップに力を入れたという。特に昨年十一月には某食品メーカー協賛で、選手個々の筋力テストを行い、どの筋肉をどのように鍛えたら良いか科学的に分析したそうである。

例えば、窪田投手は昨年から体重が8kg増えたという。胸囲4cm、上腕囲が2cmも増えた選手もあるという。こういった選手達の地道な努力が、あの好プレーを生み、観客に力強さを感じさせたのである。大きな喜びを与えてくれた選手達に、心から「ありがとう」と言いたい。

## 祝 上田高校甲子園出場

限りなく未来の輪をひろげる...

# シタケンシ 株式会社

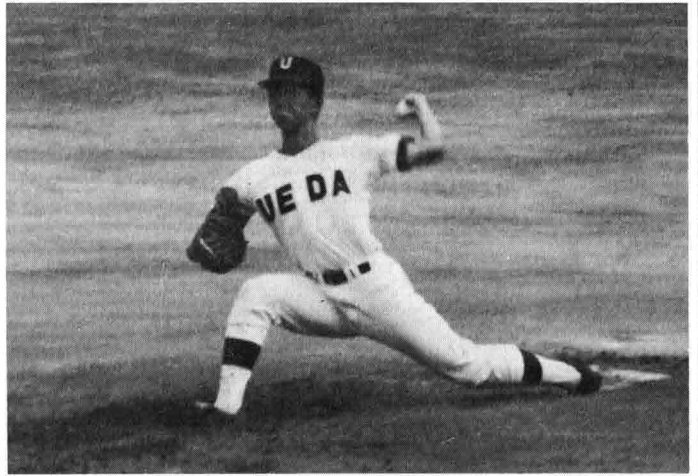
取締役社長 金子 八郎  
(第39期卒・上田高校同窓会理事長)

本社工場 長野県小県郡丸子町上丸子1078 ☎(0268) 42-2818(代)

夕日千曲の  
水の面に...



1回裏、西沢遊撃手が先制ホームラン



エース・窪田の力強い投球



# “熱闘の譜”

## 選手達の 長かった一日!



金子同窓会長の顔もほころぶ



ドンマイ、ドンマイ



1点取って来い!

# 祝 上田高校甲子園出場

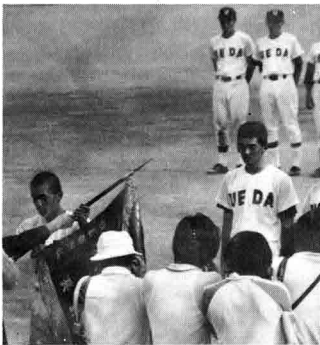
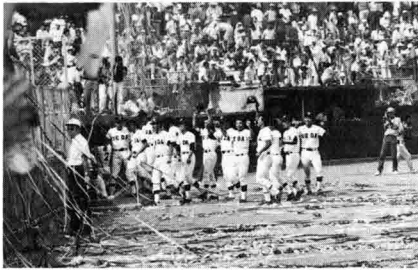
kaise 電気 / 電子計測器・試験器

## カイセ株式会社

取締役社長 海瀬 秀夫  
(第54期卒・上田高校PTA会長)

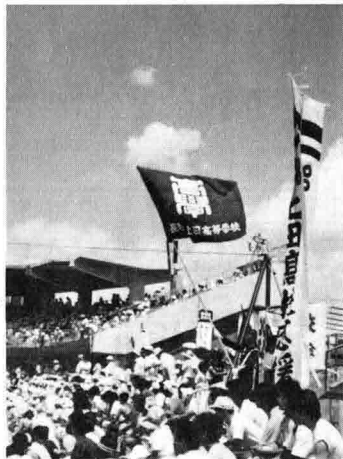
本社 上田市林之郷 ☎(0268) 35-1600(代)

…映えたる血潮  
輝きて…



青空にはためく  
校旗と応援団旗▶

応援団旗は、30年前の甲子園で使用したもの。今年偶然生徒会室で発見され、松尾の部分を取りぬいあわせて使った。



# 県大会優勝の瞬間!!

## 選手、応援団、30年ぶりの歓喜

- 対北 部 七〇
- 対松本深志 一八一
- 対茅野 二一一
- 対下諏訪向陽 一五〇
- 対岡谷南 九一二
- 対長野工 六一一



窪田、執念の中前ヒット



繁田、勝利のホームイン



やった、やった!!

田代	山田	藤野	藤田	川田
上野	小日根	荻野	菅原	六角
丸山	中野	田中	三井	西村
丸山	中野	田中	三井	西村
丸山	中野	田中	三井	西村

### 祝 上田高校甲子園出場

**Niplo** **ニプロ農業機械**  
農作業機の総合メーカー!

# 松山株式会社

取締役社長 松山 徹  
(第50期卒・上田高校野球部後援会長)

本社・工場 〒386-04 長野県小県郡丸子町塩川2949 ☎(0268)35-0300(代)

…躍るやたえぬ  
… 喜びの …

# 上田の野球こそ高校野球の原点だ

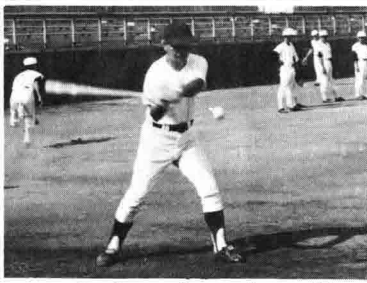
野球部長 竹重良信(50期)



状態に達し、この勝利を得るに到った陰には、野球部を取り巻く周囲の人々の献身的な協力と犠牲的精神があったことを決して忘れてはならないのである。

今は、素質のある選手を広く集め、恵まれた施設・環境で野球をさせるといふ、いわゆる野球学校が増した。我が校は、このような学校と比べると、最低の条件で活動しているといつても過言ではない。それでも勝つた。監督の好指導と科学的なトレーニング、そしてチームワークの三つが一つとなり勝利を得た。物質的な豊かさより精神的な豊かさとの安定感を如何に育てるかが高校野球の最も大切な点であり、指導の原点である。

## ノックバットを振って丸10年!



一八五cm、92kg、大男である。だが、笑うとも人なつっこい。快拳の陰に10年間縁の下の力持ちとなって支え続けた無給のコーチがいる。相沢敏夫(59期)その人である。

相沢コーチは明大OB、島岡監督の教え子。本業は損害保険代理店で、いまだ独身である。甲子園でも優しき巨漢からノックが飛ぶ。

## 春の敗戦が起爆剤に

野球部監督 草間清光



昨秋の県大会でベスト4に入り、久々の北信越大会に出場しました。一回戦で富山商に2対1で惜しくも敗れましたが、この時から、夏には狙えるチームに育てようと考えていました。寒い間はランニングとウエイトトレーニングでスタミナと筋力を高める練習を徹底してやりました。春の大会では岩村田高に一回戦で敗れましたが、思わぬ敗戦が選手の心に火をつけたようです。「夏は負けないぞ」「一から出直した」…。三年生は頭を真青の五厘刈りにして自分達の決意を表わしました。この時、夏は必ず良い結果が出せると確信しました。県大会では

## 募金、まず一億円を!

こうして勝ちえた甲子園切符に、地元ファン、同窓生、PTA等は大喜び。早速後援会を組織し、募金活動に、また応援団編成にと、連日飛び回っている。募金はとりあえず一億円目標で、関東・長野市を除く同窓生から五千万以上を見込み、応援団は

地元から四千人を編成する。同窓生からの募金は、各期別に目標額が設定され、それに向かって同窓生は活発に動いている。

八月三日、午後五時半より、上田高校校庭で、選手壮行会が盛大に催された。生徒・同窓生、PTA・一般市民等、多数出席のもと、永野裕貞上田市長等から激励の言葉が述べられ、竹重野球部長、草間監督、小山主将からそれぞれ力強い答礼の言葉が聞かれた。校歌斉唱の後、万歳で選手を送った。

翌八月四日、午前九時、甲子園での活躍を胸に秘め、選手26名は旅立った。折、必勝!!

## 壮行会盛大に行われる

## 「夢」実現して!

野球部主将 小山修



甲子園、それは高校球児にとつて夢であり、憧れの大舞台であります。

今、まさに30年ぶりの大きな夢が実現したわけですが、これも草間監督さんをはじめ、竹重部長先生、コーチの相沢さん、顧問の先生方、それに応援して下さった皆々様のお蔭であると心から感謝しています。この感激を胸に、甲子園では、期待に応えられるように、ひと暴れもふた暴れもしてくるつもりです。

一つの夢が実現した今、新たな夢に向かって努力し、その夢に一步でも近づくようにすることこそ、僕等に与えられた使命であると思います。上田高魂を発揮させ、長野県の代表として恥じない試合をしてきます。

## 祝 上田高校甲子園出場

HIOKI

…電子計測器ひとすじに半世紀…

# 日置電機株式会社

代表取締役 日置恒明

(第52期卒)

本社・坂城町 ☎(0268) 82-3030(代)

…流れにひびく

陣太の音…